

日蘭イエナプランアカデミー イエナプラン資格取得研修

本資格は下記の団体によって認定されています

- EP-NUFFIC (オランダ教育国際交流組織)
- ポスト高等専門学校組織¹
- NJPV オランダイエナプラン協会
- JAS イエナプラン・アドバイス&スクーリング社
- 日本イエナプラン教育協会



舵を握るのはあなた

人間の発達には止むことがありません。つまり、どんな人にも、「これで全てを学び終えた」ということはありえないのです。本研修の受講者は3ヶ月間の集中的な学習を通して、イエナプランの資格を取得しますが、資格が取れたらそれで終わり、ということでは決してありません。この研修には、いわば

¹ HBO(高等専門学校)は日本における学士レベルの高等教育を行っている高等教育機関で、Universiteiten(総合大学)とは異なり、職業専門性の高い教育を提供しています。単位互換性など対外的には<学士>資格取得機関です。Post HBO とは、ここで卒業資格を取得していることを条件に、さらに追加的な研修を行う組織を意味しています。

触媒のような役割があります。つまり、あなたがイエナプランナーとして発達を続けるにあたって、そのさらなる発達を助け、深めるために行われるものです。

イエナプランナーとしての発達に第一義的に責任を持っているのは受講者自身であって、講師たちではありません。講師たちは受講者を導くコーチにすぎません。良いスコアを達成するかどうかは、あなた次第です。講師陣は個々の受講者の発達を助けますが、それをどう進めていくのか、決めるのは受講者です。言うならば、自己の発達に向けて、船の舵取りをするのはあなた自身だということです。過程や取り組み方については、受講者自身が判断して決めていきます。もちろん、それをイエナプランの枠組みの中で行い、その枠組みは講師たちが提供します。

ですから、研修に対してはアクティブ(能動的)に関わるようにしてください。何をしなければならないのだろうと様子を伺うような「消費者」にはならないように気をつけなければなりません。手にしっかりと舵を握り、どういう点で自分はもっと良くなりたいのかを自分で決めるのです。そのためには、日本でのあなたの仕事場についても考慮する必要がありますでしょう。ここでの学びや発達は、あなた自身の国の状況にどう関連付けることができるでしょうか。自分自身の将来の発達や、日本における教育の発展にとって今必要なことは何なのか、と考えて、自分で進むべき方向を決めてください。

受講資格

研修の受講資格は、日本で認定された正式の教員免許状(初等・中等教育)、幼稚園教諭免許状、保育士資格を取得している者、ないしは、これらの資格を2年以内に取得する見込みの者に限りません。²

これらの免許を持たない方の参加については相談に応じます。ただしその場合、専門教員資格は付与されません。

² すなわち、就学前教育から中等教育段階までの指導者・教員となるための最低限の教育学知識があることを、日本の免許状制度によって認められているものに限りません。また、研修は、教育学研究者にも研究活動の一環として参加を例外的に認めますが、本研修の資格だけで教員資格に代わるものではありませんのでご注意ください。

正式に認定された資格

イエナプラン・アドバイズ&スクーリング社(以下 JAS と省略)による本研修は、資格を認められたシニア講師陣が行います。すなわち講師らはオランダ・イエナプラン教育協会(以下 NJPV と省略)から正式に教員に対する現職教員指導者としての資格を認められている専門家です。

JAS はイエナプラン教育のためのサポート・研修研究所として世界でも最大規模の組織です。講師陣と同様、JAS も研修所として NJPV から正式に認定されています。JAS では5名のシニア講師が働いていますが、5名ともイエナプランスクールで働いた経験を持っており、全員、校長または特別支援教員として積年の経験を持っています。また研修提供の経験も長く、全員、イエナプラン教員認定資格取得研修講師として 10 年以上の経験があります。JAS は、これまでにすでに約1000人のイエナプラン校クラス担任教師(ファミリーグループリーダー)を養成し資格を授与してきました。シニア講師という意味はそうした背景に基づくものです。

研修の構成

日本人学生のための JAS の本研修は3ヶ月の期間を使って行われます。研修は以下の3つの要素から構成されます。

1. 理論講座
2. 実習期間
3. 自主学習

2023 年度の研修日程

月日	活動内容	場所	滞在場所
9/22(日)	到着	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
09/23(月)~10/4(金)	理論講座	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
10/5・6(土・日)	フリータイム		
10/7(月)~ 10/13(日)or 10/14(月)	実習	オランダのイエナプラン スクール	グループリーダーの家に ホームステイ

10/14(月)～10/25(金)	理論講座	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
10/26・27(土・日)	フリータイム		
10/28(月)～ 11/3(日)or 11/4(月)	実習	オランダのイエナプラン スクール	グループリーダーの家に ホームステイ
11/4(月)～11/15(金)	理論講座	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
11/16・17(土・日)	フリータイム		
11/18(月)～ 11/24(日)or 11/25(月)	実習	オランダのイエナプラン スクール	グループリーダーの家に ホームステイ
11/25(月)～11/29(金)	理論講座	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
11/30・12/1(土・日)	フリータイム		
12/2(月)～12/6(金)	実習	オランダのイエナプラン スクール	グループリーダーの家に ホームステイ
12/7・8(土・日)	フリータイム		
12/9(月)～12/11(水)	自主学習	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設	ヘット・ボーヴェンフェーン JAS 研修施設
12/12(木)	プレゼンテーション・資格証書の授与式		

理論講座

理論講座の目的は、イエナプランの理念について理解を深めることです。ペーターセンによりイエナが生まれてから、1964年前後にオランダに導入されるまでの経緯、およびオランダにおけるこの教育方の発展について学びます。最初の学校はどのようにして始まり、その理念は今日に至るまでどのように発展してきたのでしょうか。

理論講座は、コミュニケーションに問題が起きないように日本語通訳がつき、認定資格を持った講師が担当します。

研修で扱う以下のテーマは、①知る(イエナプランについての知識)、②作る(オランダイエナプラン教育協会によって設定されているコア・クオリティに従ってイエナプラン教育を作る)、③発展する(質の向上)という3つのカテゴリーに分けられます。

1. **イントロダクション**、氷水に飛び込むつもりで、概要説明
2. リーダーシップ・内容・教授技術・マネジメント³
3. **イエナプランを知る | TVO**
 - a. ペーター・ペーターセン
 - b. スース・フロイデンタール
 - c. 伝統的な教育刷新運動(新教育運動)
4. **イエナプランを知る | 基本原則とクオリティの基準**
 - a. ボットとフルーヒデンヒルの基本原則
 - b. ボットのクオリティ特性
5. **イエナプランを知る | イエナプランのエッセンス**
6. **イエナプランを作る: イエナプランのコア・クオリティ**
 1. 自分自身との関係
 2. 他者との関係
 3. 世界との関係
7. **イエナプランになる | ファミリーグループ**
 - a. ペダゴジカル(子ども学に基づく)学校
 - b. 学級編制
 - c. 3学年からなる異年齢学級
8. **イエナプランになる | 7つの基本活動**

a. とともに話す	e. 実験する
b. とともに遊ぶ	f. 考える
c. とともに働く	g. 祈る・瞑想する
d. とともに催す	
9. **イエナプランになる | 環境をデザインする**
 - a. 自分の教室、学校、運動場、校庭をデザインする
 - b. 時間割をデザインする: リズミクな週計画
 - c. 子ども達一人ひとりの週計画をデザインする
10. **イエナプランになる: ブロックアワー**
11. **イエナプランになる: 教科学習とファミリーグループワーク**
 - a. 教科学習

³ L.I.D.O.とはリーダーシップ・内容・教授技術・マネジメントを意味するオランダ語 Leiderschap, Inhoud, Didactiek, Organisatie の後の頭文字をとった、主要な概念の省略語です。

- b. 生きた言葉と自由作文
- c. ファミリーグループワーク
- d. ストーリーライン・アプローチ
- e. ヤンセンの自転車
- i. マルチプルインテリジェンス

12. イエナプランになる:通知表

- a. 通知表
- b. 保護者
- c. サポート(ケア)

13. イエナプランになる:リーダーシップ

- a. リーダーシップをとる
- b. 問いかける
- c. 意味を与える

実習

研修期間中には、全部で4回、1週間ずつ、各回異なるイエナプランスクールで実習を行います。実習期間中、受講者はグループリーダーや児童の自宅にホームステイします。ホームステイを通して、単にイエナプランスクールだけではなく、オランダの担任教師の生きた世界がどんなものであるかを学びます。このようにして、受講者は、ゆっくりとながら、オランダ文化の背景を発見していきます。

学校との相談の上で、受け入れ可能な学校の中から実習先を決めます。実習期間中は、お互いにコンタクトを取り合い、何か質問や問題がある場合には、いつでも、講師または通訳(コーディネーター)が相談に応じます。

自分は何を学びたいのか

イエナプランの資格を取得するためには、誰もが知っていなければならない知識や情報(オランダイエナプラン教育協会が設定しているもの)があります。同様に、身につけるべきスキルや態度もあり、これらは研修のテーマとして取り扱われます。ただし、個々の受講者が特に何について自らを発展させたいかについては、その受講者自身が決めることです。舵取りをするのは受講者自身です。

ある人にとっては既にできていたり知っていたりすることでも、他の人にとってはそうではないかもしれません。かつては、受講者が何を学ぶか、指導者が決めるのが普通でしたが、この研修では、受講者自身がその大半を自分で決めます。また、研修成果についての評価も、多数の人が行います。講師たちが、そこで大きな役割を果たすのは当然ですが、受講者自身が自らの評価をしなければなりません。また、受講者同士も評価し合います。つまり、受講者の評価についての責任は、自分自身と、同じ研修を受けている仲間の受講者、そして、担当している講師たちに置かれます。

学校ごっこはしない

イエナプラン教育では、私たちは、できるだけ<学校ごっこ>をしないように努めています。既に何でも知っている先生が、何も知らない子どもたちに多くを教えるというやり方のことです。イエナプランナーはそのような仕事はしません。ですから、この研修でも、そういうやり方はしません。<学校ごっこ>はやらないということです。従って、講師が学び度合いをチェックするためのテストはありません。中学校でよくやる、読んだ本について口頭でテストするということもしません。そういう時代はすでに過去のものです。

講師は、その代わりに、定期的に対受講者に対してこう問いかけます。あなたは何を身につけたいのですか?と。自分がもっとさらに成長するためには、仲間の受講者、講師を利用すべきです。そして、あなた自身もあなたの積極性によって、仲間の役に立つようにしなければなりません。

イニシアチブを取り、探求し、実験するのです(基本原則18)。ちょうど、自分が受け持つクラスの中でするように、です。クラスでは、子ども達がたくさんのことをし、教師であるあなたは少ししかやらないようにしなければなりません。毎回の講座のたびに、椅子に深く背をもたせ、「講師は今日は一体何をまた言うつもりなのだろう」とただ待っているという人には、この研修は向いていません。講師たちは受講者を「刺激する」ことはあっても、実際の行動を起こすのは受講者自身でなければなりません。あなたが学ぶのでなければなりません。

好奇心を持つ

教員であるあなたが沢山のことを知っていればいるほど、ファミリーグループの子どもたちの指導は容易になります。たくさんの知識があれば、子どもたちの発達をよりうまく刺激できます。しかし、多くの知識以上に重要なのは、教員自身が多くの問いを持っていることです。多くの問いを持っている人は多くの答えを受け取ります。そして、多くの答えを見つけた人はさらにもっと多くの問いを持つようになります。これが、一つひとつの答えを問い直すということの意義なのです。ですから研修には好奇心を持って関わるようにしましょう。自分自身と他の人に常に問いかける姿勢を持ちましょう。

あなたは、講師たちから(耳で聞く)講義を受けますが、同時に、クラスメートがやるたくさんのプレゼンテーションからも多くを学びます。そしてもちろん、受講者自身もプレゼンテーションをしなければなりません。研修グループの中で、また、自分の学校でプレゼンテーションをします。その他に、お互いの好奇心を刺激しあうために、デジタル・ポートフォリオを使うこともできます。また、それだけではなく、お互いに情報を交換したり、お互いに対して発表もします。現代では、必ずしもお互いに物理的に対面する必要はありませんし、デジタルツールを利用して交流することもできます。しかしこうした出会いの中で、お互いの好奇心を示しあうことができます。これは、イエナプランナーとしての特性の一つです。

イエナプランに関する文献

2014年11月にオランダ・イエナプラン教育協会はヌンスペートで開かれた全国大会の折、イエナプランの新刊書を発表しました。この『イエナプラン、共に生きることを学ぶ学校』は、フレーク・フェルトハウスとヒュバート・ウィンターズの著によるものです。著者はいずれもJASの設置者で経営者でもあります。この本は日本語でも出版されていますので、必ず一冊持参の上で研修を受けてください。

これは、このJASの研修が、この本に密接に関連付けられているということを意味しています。JASの知識と経験はこのイエナプランの著作に込められており、したがって、このイエナプラン研修の中にもしっかりと織り込まれています。

ポートフォリオ

研修期間中、あなたは自分のポートフォリオを使って仕事を進めます。このポートフォリオの中で、研修の中で行った過去の自分の活動を振り返ることができます。

このポートフォリオには、取り組んだ課題の成果や、文献研究の報告、また、現場経験を通しての発達記録などが綴じ込まれていきます。毎回のミーティングの後では、何らかの進歩があることが当然期待されています。こうした進歩をポートフォリオに記録していきます。このようにして自分自身の進歩の跡を記録していくのです。

ポートフォリオをどのような形式のものにするかはそれぞれ自分で選べます。デジタル形式(ホームページやブログ)でもいいですし、紙の上のものでも構いません。ミーティングの度に、受講者同士がポートフォリオを見て、お互いの進歩について話し合えるようにします。

8欧州認定単位

研修では一般的に、受講者の個性によって負担のかかり方が異なります。ある人にとっては早く進められることでも、他の人にとってはもっと時間がかかるかもしれません。ある時にはすぐにやる気が起きだんどん先に進められるかもしれませんが、場合によっては、もっと詳しく知りたいと考えることもあるかもしれません。

研修は全部で8欧州認定単位から成ります。1欧州認定単位は28時間ですから、研修全体は、224時間から成ります。

イエナプラン・コア・クオリティプロフィール

オランダイエナプラン教育協会は 2009 年春にイエナプランのコア・クオリティを設定しました。このコア・クオリティはイエナプランが目指しているクオリティを可視化するために作られたものです。イエナプラン・スクールはこれらのコア・クオリティを満たさなければならず、オランダ・イエナプラン協会が正式に認定しています。当然ですがこれらのコア・クオリティは、それぞれのファミリーグループにおいても要請されるものです。しかし、現実にそうなっているでしょうか。JAS の研修では、実習期間

中、この点について受講者に批判的に見直してもらいます。また、実習後の評価の際にも、この点について詳しく検討します。

コア・クオリティは12の項目と3つのグループに分かれています。

1. 子どもの、自分自身との関係
2. 子どもの、他者との関係
3. 子どもの、世界との関係

JAS はコア・クオリティのためのプロフィールというものを開発しました。こうすることで、イエナプランのコア・クオリティが観察可能な行動の中で実現されるためです。プロフィールというのは、ファミリーグループの中で観察可能なことのリストです。私たちは、受講者を通して、グループリーダー自身にそれについて見直してもらうようにしますが、受講者であるあなたにも質問リストに応え、そこに書かれている行動に対してそのグループがどれくらいできているかスコアを入れていきます。このようにすることで、そのファミリーグループがどれくらいのレベルでイエナプラン教育を実践できているかについて見極めることができます。この3つのプロフィールが最終的には受講者のポートフォリオに記録されます。

リーダーシップ・内容・教授技術・マネジメントのプロフィール

JAS は lido プロフィール(*リーダーシップ・内容・授業技術・マネジメントのオランダ語の頭文字をとったもの)に書かれたグループリーダーのコンピテンシー(技能)リストも持っています。良いグループリーダーは以下のことについて能力を持っていなければなりません。

1. リーダーシップ
2. 内容
3. 教授技術
4. マネジメント

あなたは LIDO プロフィールを使って、この4つの分野において自分がすでにうまくやれていることを挙げます。ここでも、リストの記入欄にチェックマークを入れていきます。このようにして、自分自身のイエナプラン教師としての能力の発達を知ることができますし、グループリーダーとしてのあなたの得意な面はどこにあるかを知ることができます。このプロフィールもポートファイルの中に綴じていきます。

ヨハリ・ウィンドウ

「ああ、そんなことずっと前から知っているよ」「そんなこともう何年も自分でやっている」「どれもみな自分ではちゃんとできている」

もちろん、あなたはすでにたくさんのことをうまくやっているかもしれません。しかし、私たちには誰でも自分では気づかない盲点があるものです。他の人には見えていることが見えないのです。他の人が自分についてどう見ているかがわかりません。だから私たちは、自分をさらに一層磨いていくために他の人を必要とするのです。

研修期間中、あなたは他の人に、あなたがすでにうまくやれていることは何かについて聞きます。こうして、「360度のフィードバック」をします。仲間もそうですが、特に子ども達はあなたがどんなグループリーダーであるかについてたくさん情報を提供できます。ですから、自分自身の盲点をできるだけ小さくするためには、それを是非利用すべきです。

こういうことは一人ではできません。だからあなたには他の人が必要なのです。

成長カード

JAS の研修では成長カードを用います。そこにはあなたが達成しようとしている目標が明確に示されています。これは、あなたがすでに達成したことについての要約のようなものです。あなたが知っていることやできることは何かのリストです。自分で管理維持していくチェックリストです。講師は講師の観察をそのカードの上で確認します。これは、一種の学習活動のまとめです。この成長カードは常に携帯していなければなりません。このカードはデジタル・ポートフォリオに収められます。

マスターピース

研修の最終段階では、受講者はマスターピースの制作に取りくみます。卒業制作です。全ての理論的知識と実習経験の後で、これが日本における教育実践にとってどのような意味を持つかについて考え作品にするという課題です。あなたは、この研修を通して、日本の教育状況の中で、イエナプランの特性の発達に対してどのような貢献をすることができるでしょうか？

この卒業制作は、講師たちと仲間の受講者に対してプレゼンテーションします。このようにして知識を共有することが望ましいからです。もちろん、共有は、理論のためのミーティングの際にもすでに何度もやっているはずですが、卒業の日には、これを正式な形で行います。

全ての制作された作品は、一つにまとめられ、日本イェナプラン教育協会を通して他の人の目にも触れることができるようにします。

プレゼンテーション

研修中には、頻繁にプレゼンテーションをしなければなりません。いつ、どんなテーマについて、グループの仲間に対してプレゼンテーションするのかについては、私たち講師が研修中に提示します。

また、実習に行く学校に対しても、あなたの存在を示すことは良いことです。自分自身について、あなたはどこに住んでいて日本でどんな生活をしているのかを、あなたが実習に行く学校の子どもたちやグループリーダーや保護者たちにプレゼンテーションするようにしましょう。こうすることで、お互いの繋がり意識が生まれます。

テーブルグループ

理論講座のミーティングでは、テーブルグループの中で仕事を進めます。このグループでは、お互いの発達についてポートフォリオを通して確認し合います。

ミーティングの際には、しばしば、自分をもっと知りたいと思っているテーマについて話し合われます。例えば、何らかのことを実践するにはどうすればいいか、といったことです。ですから、実習の際に探求したい課題の問いが生まれた場合には、それを材料に理論ミーティングに参加すると良いでしょう。

パートナー

研修中には、学習パートナーを決めます。このパートナーと共に自分の発達について情報を交換し合います。自分と相性の合うパートナーを選びます。パートナーの組み合わせは変更することも可能ですが、できれば変更しない方が良いでしょう。

文献研究

自らの知識を広げるためには読書もしなければなりません。また、現在入手可能なイエナプランについての現在の情報にも皆触れておく必要があります。プレゼンテーションに使えるようなイエナプランに関する文献等は、(できる範囲で)自習の材料としてお持ちください。

卒業

卒業の意味は、受講者が、イエナプランの研修が自分にとって何を意味するものであったかを公の場で示すことにあります。受講者は、イエナプランのコンセプトに関わる知識・スキル・態度の分野で自分がどのように進歩したかを周囲に示します。それは、次の二つの方法で行います。

1. 展示テーブル

卒業式の前に、受講者は、いわゆる展示テーブルというものを用意します。ここに、自分の研修に関するものを陳列します。テーブルには、自分自身の発達にとって重要である、または重要であったものを並べます。ここには、何れにしても、目標カードと、当然ですが、あなたの卒業制作であるマスターピースが置かれます。

そして、さらに、自分の研修中のイエナプランナーとしての発達が他の人にもよくわかるようにテーブルを飾ります。

2. プレゼンテーション

また出席者に対して、この研修が、あなたの、グループリーダーとしての価値に何を加えたかについて口頭で発表します。口頭発表は5分以内で行われなければなりません。プレゼンテーションは出席者に対して、この研修がどのようなものであったかを示すものとなります。あなたの研修の締めくくり

をより意義深いものにするようにしましょう。また、注意すべきなのは、プレゼンテーションは必ずしも心地よいものでなければならないとは限らないということです(もちろんそうであって構いませんが)。

全ての口頭発表が終了したら、受講者は、一人ひとり個別に講師から言葉を受け、それに続いてイェナプランの資格認定の署名と証書の授与を行います。

参加費

受講費は参加者一人あたり 11.000 ユーロとします。これまでに春または秋の JAS による短期研修に参加して参加証明書を取得した方は500ユーロの割引を受ける権利があります(受講証明のコピーを添えて申し込みください)。

受講費に含まれているもの

- 到着後アムステルダムからエヒテンの研修所までの移動バスの費用とウェルカムディナー
- 研修講座中の講座費(講師及び通訳の費用)
- 研修所に隣接した宿舎「ヘット・ボヴェンフェーン」での宿泊費用
実習中の下記の費用
 - ホームステイ費用
 - 学校への実習謝礼
 - 講師および通訳コーディネーターによるコーチング費用
- 研修終了後、エヒテンからアムステルダムまでの移動バスの費用

受講日に含まれていないもの

- 理論講座期間中の飲食費(受講者は自炊に必要な施設設備が宿舎にあるのでご利用ください。1週間あたり70ユーロ程度と推定)
- 「フリータイム」中のコスト(受講者は週末のフリータイムは自由に行動できます。この時間をオランダ国内の見学に使うことができます。これについて研修所は何らかのアドバイスを提供することが可能です。また、ウィークエンドは宿舎は使用できませんのでご注意ください)
- 日本からオランダまでの往復渡航費
- オランダ滞在期間中に起きる疾病・傷害等のための保険費用
- 教材費(ほんの木出版『イェナプラン 共に生きることを学ぶ学校』を購入しお持ちください。

https://www.honnoki.jp/c/books/books_all/gd592)

参加申し込み及び問い合わせ(日本語)は下記へどうぞ:

kensyu@japanjenaplan.org

申し込みに際しては、氏名(日本語とローマ字)、性別、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、所属および教員免許又は保育士免許の種別を明記してください。